

## VI 2016年度 秋学期実施 Qualifying Examination (QE)

本要項4ページに記載のとおり、Qualifying Examination(QE)とは別に、大学院 博士課程(後期課程)入学試験を受験し合格する必要があります。このQEに合格しても、大学院 博士課程(後期課程)に入学できない者は、プログラム履修生となることができません。

## 1. 募集人数

(春学期・秋学期実施を合わせて) 15名

## 2. 出願資格

下記の(1)もしくは(2)のいずれかに該当する者で、(3)及び(4)を満たす者。

- (1) 本プログラムのPE合格者で、下表の基幹研究科・専攻又は連携研究科・専攻の博士後期課程の入学選抜試験に合格した者もしくは受験することが証明できる者。
- (2) 本プログラムを実施する基幹研究科・専攻又は連携研究科・専攻の博士後期課程の入学選抜試験に合格した者もしくは受験することが証明できる者で、本プログラムにおける個別の出願資格審査を得て、PE合格者と同等以上の能力を有すると認められた者。
- (3) 本プログラムを継続的に学ぶことを強く希望し、本プログラムを修了することを目指す者。
- (4) 博士課程(後期課程)入学後に指導を受ける予定の教員と研究(学習)計画について相談し、本プログラムへ出願することについての承諾を得られる者。

※上記(2)による出願希望者は、出願前に出願資格の認定が必要です。認定のため、該当者は「QE出願資格認定審査調書」(所定用紙)「志望理由書」、最終学歴の卒業証明書(含む、卒業見込証明書)及び成績証明書(卒業見込みの者は、履修中の科目が記載されていること)を、2017年1月10日(火)から1月13日(金)の間に、グローバル・スタディーズ研究科もしくは理工学研究科事務室の事務室開室時間に提出すること。郵送の場合は、高等研究教育課に簡易書留速達郵便で提出すること(2017年1月13日(金)必着)。提出された書類にもとづいて出願資格の認定を行い、認定審査の結果を1月20日(金)に本人宛に通知します。

提出(郵送)先

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入  
同志社大学 高等研究教育機構 高等研究教育課  
グローバル・リソース・マネジメント 事務局

基幹研究科・専攻	グローバル・スタディーズ研究科グローバル・スタディーズ専攻、 理工学研究科情報工学専攻、理工学研究科電気電子工学専攻、 理工学研究科機械工学専攻、理工学研究科応用化学専攻、 理工学研究科数理環境科学専攻
連携研究科・専攻	神学研究科神学専攻、文学研究科哲学専攻、 社会学研究科社会福祉学専攻、社会学研究科産業関係学専攻、 法学研究科公法学専攻、経済学研究科経済政策専攻、 商学研究科商学専攻、総合政策科学研究科総合政策科学専攻

3. 出願受付

出願書類配付場所：グローバル・スタディーズ研究科もしくは理工学研究科事務室  
または以下のホームページよりダウンロードも可能。

(<http://grm.doshisha.ac.jp/jpn/recruitment>)

受付期間 2017年2月6日(月)～2月10日(金)

9時～11時30分, 12時30分～17時

受付場所 進学予定研究科により、提出先が異なるため注意してください。なお、出願する学生は、下記の進学先予定の研究科事務室で、当該研究科の入学選抜試験に合格、もしくは受験することが決まっている旨の証明を得てください。

受付場所(事務室)	進学予定研究科
グローバル・スタディーズ研究科事務室 (今出川校地烏丸キャンパス 志高館)	グローバル・スタディーズ研究科、神学研究科、文学研究科、社会学研究科、法学研究科、経済学研究科、商学研究科、総合政策科学研究科
理工学研究科事務室 (京田辺校地京田辺キャンパス 理化学館)	理工学研究科

原則、郵送による出願は認めません。特別な事情により、持参できない場合は受付期間前に、受付事務室に相談し、その指示に従ってください。

4. 試験会場

同志社大学今出川校地で実施します。教室については、出願受付時に指示します。

5. 選考方法

出願書類、口頭試問により、総合的に合否を判定します。

6. 試験日時、試験科目

試験日 2017年2月26日(日)

試験科目

試験会場	9:30 ~
今出川校地	口頭試問

口頭試問：修士論文に対する質問、博士前期課程で取得した知識、研究(プロジェクト)遂行能力などを評価します。使用言語は受験者の希望に応じて、日本語又は英語で行います。

## 7. 出願資格認定書類〔2. 出願資格(2)による出願希望者のみ〕

## (1) QE 出願資格認定審査調書(所定用紙)

## (2) 志望理由書(自由書式)

A4用紙5枚以内に①志望動機、②GRMにおける履修計画(特に、文系学生は理系科目、理系学生は文系科目の履修と本プログラムで実現しようとする目標の関係を明示すること)、③これまでの学修活動等(調査研究、研究発表、取得資格等、適宜、学歴や職歴を明記して記述してもよい。実務経験を有する者はその業務内容等を記述してもよい。)を英語もしくは日本語で記入してください。書式は自由としますが、タイトルは「志望理由書(QE)」とし、作成年月日、氏名を記入し、ページ番号を付与の上、片面印刷で提出してください。

## (3) 最終学歴の卒業証明書(含む、卒業見込証明書)

## (4) 成績証明書(卒業見込みの者は、履修中の科目が記載されていること)

※履修要項、履修した科目のシラバスを付してください〔コピー可〕。

## 8. 出願書類

## (1) 履修志願票(所定用紙)

「グローバル・リソース・マネジメント」履修志願票(QE)

## (2) 成績証明書〔2. 出願資格(1)によるPE合格者のみ〕

出身大学長証明のもの(博士課程(前期課程)または修士課程で修得した全科目の成績(当該セメスターに履修中の科目は、履修中と表示)および単位数が記載のもの)。

※本学学生の場合、履修中科目が表示された証明書は、証明書自動発行機では発行されませんので、所属研究科事務室で申込んでください。

## (3) 履修継続志望理由書(A4用紙2枚以内、自由書式)〔2. 出願資格(1)によるPE合格者のみ〕

## (4) 研究計画書(自由書式)

A4用紙2枚以内に今後の研究計画と希望進路について、英語もしくは日本語で記入してください。書式は自由としますが、タイトルは「研究計画書(QE)」とし、作成年月日、氏名を記入し、ページ番号を付与の上、片面印刷で提出してください。

## (5) 修士論文の写し

可能な限りA4用紙に印刷し、ダブルクリップ(バインダークリップ)または、ひも綴じで提出してください〔ファイル等は不要〕。

(6) 指導教員の所見(所定用紙) **※厳封のこと**

## (7) 写真1枚

出願前3か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真(ﾀﾞｲ 3cm×ｺﾞ 2.4cm)を履修志願票の貼付欄に貼付してください。

## (8) 宛名ラベル(所定用紙)

志願票記載の本人住所・氏名を記入してください。

(9) 「グローバル・リソース・マネジメント」奨励生申請書 **※2017年4月から給付を希望する者のみ**

内容・要件等の詳細は、別冊「GRM履修生特別奨励金給付要項」で確認ください。申請書式も給付要項にあります(本選抜試験要項には付してありません)。

※ 本プログラム選抜試験の検定料は徴収しません。

※ 受付した書類は返却しません。

9. 合格者発表

2017年3月1日（水）

受験者には合否通知を本人住所宛に郵送します（日本国内に居住する場合）。

合格者発表に関する電話等の問い合わせには一切応じません。

10. その他

(1) 同志社大学大学院博士課程教育リーディングプログラムGRM履修生特別奨励金

同志社大学では、本プログラムで学ぶ学生のキャリア形成を支援するために、希望者には奨励金を給付します。以下に概略を記しますが、詳しい内容・要件等は、別冊

「GRM履修生特別奨励金給付要項」で確認ください。**本奨励金制度における奨励金の給付は、2019年3月までです（2019年4月以後は未定）。**

対象学生：QEに合格し、本プログラムで博士学位取得を目指すことを誓約できる学生

給付金額：月額20万円

給付期間：博士後期課程在学中の3年が上限で、原則1年次から3年次での3年間で  
す。毎年度末に継続申請をし、審査を受けなければなりません。

その他条件等：

本奨励金は、本プログラムに専念するためのものであり、給付期間中はアルバイト等  
就業できません（ただし、TA、RA及び留学生学習・研究支援チューター活動の対  
価としての報酬については、当該活動が「グローバル・リソース・マネジメント」プ  
ログラムの実施に不可欠な場合に限り週当たり総時間数5時間まで受給可能）。

また、本奨励金は雑所得として課税対象になります。

給付者の氏名は、ホームページで公表されます。

(2) 履修生紹介

文理融合型の教育プログラムであり、研究者間の交流等を促進すべく、履修生紹介（氏  
名、国籍、言語、所属・専攻、指導教員、経歴、主な著書、論文、履修理由・目標等）  
冊子を作成し、公表する場合があります。